

大阪ガスのお問い合わせ先

〈お客さまセンター〉

大阪リビング営業部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 0120-0-94817

南部リビング営業部 〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19 電話 0120-3-94817

北東部リビング営業部 〒569-8569 高槻市藤の里町39-6 電話 0120-5-94817

兵庫リビング営業部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 0120-7-94817

京滋リビング営業部 〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93 電話 0120-8-94817

お電話のおかけ間違いのないよう、お願いいたします。
(所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

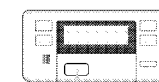
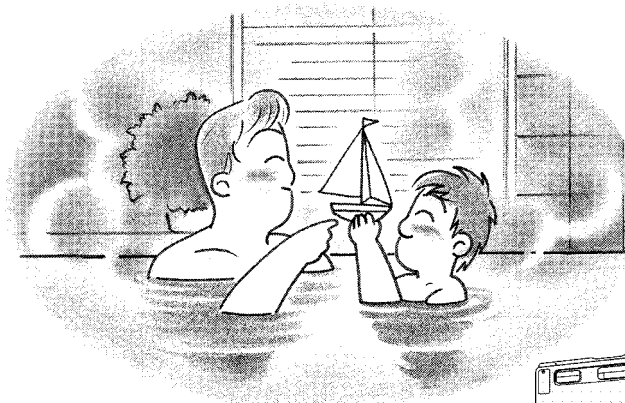
大阪ガス株式会社

ガス給湯暖房機

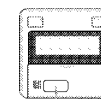
取扱説明書

大阪ガス

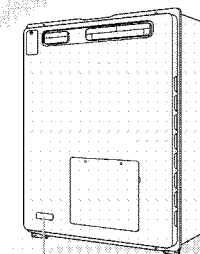
機能	品番	型式名	設置方式
24号全自動	135-M320	AT4204KRSAWQ	屋外式
熱動弁外付け	135-M322	AT4204KRSAWQ-C	
2温度タイプ	135-M324	AT4204KRSAWQ-F	
24号自動	135-M340	AT4204KRSSWQ	
熱動弁外付け	135-M342	AT4204KRSSWQ-C	
	135-M344	AT4204KRSSWQ-F	
16号全自動	135-M720	AT2804KRSAWQ	
熱動弁外付け	135-M722	AT2804KRSAWQ-C	
2温度タイプ	135-M724	AT2804KRSAWQ-F	
16号自動	135-M740	AT2804KRSSWQ	
熱動弁外付け	135-M742	AT2804KRSSWQ-C	
2温度タイプ	135-M744	AT2804KRSSWQ-F	



品番



品番

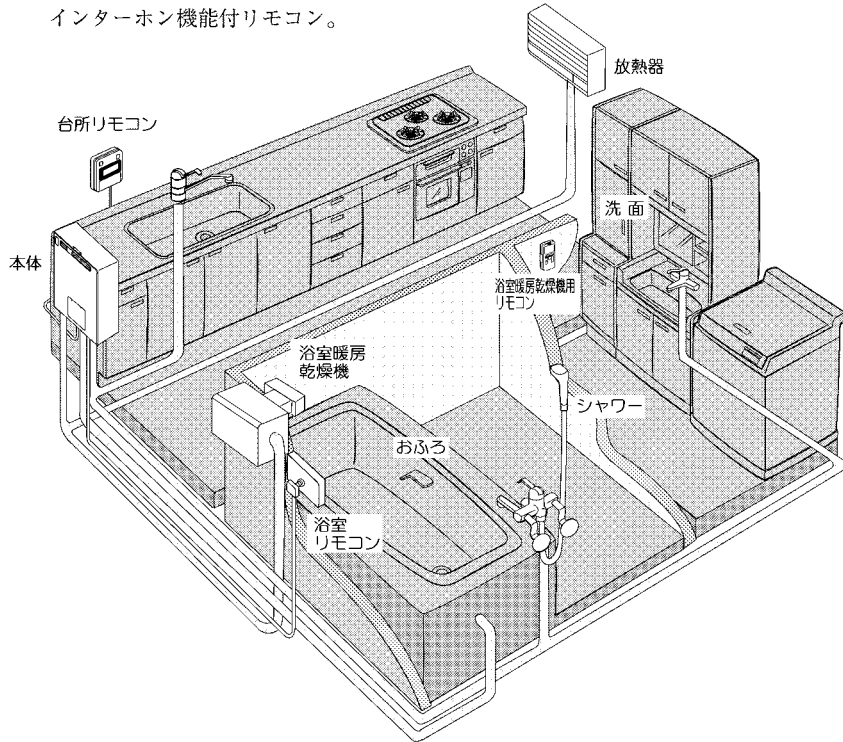


品番

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
KGN9501LDF1 F0304-0

この取扱説明書は全自動タイプ、自動タイプ共通です。熱源機を確認の上、必要箇所をお読みになってください。
共通する説明のイラストは、全自動タイプで説明しています。

- 適温・適量のお湯はりができれば自動停止するお湯はり運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。
- 給湯の断続的な使用時に温度変化の少ない、Q機能付。
- 動作状態が一目でわかる3色バックライト台所リモコン。
- より明るく見やすくなったブライトミラー液晶搭載の浴室リモコン。
- 操作の内容を声やメロディーでお知らせする音声お知らせ機能付リモコン。
- 浴室のスイッチを押すだけで、台所と通話ができるワンタッチ通話機能付きインターホン機能付リモコン。



このたびはガス給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- 別添付の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
- 来客者などが熱源機を使用されるときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にて再購入してください。
- 本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく熱源機の寿命が縮まります。

この取扱説明書は音声お知らせ機能付リモコン、インターホン機能付リモコンで説明しています。共通する説明のイラストは、音声お知らせ機能付リモコンで説明しています。

音声お知らせ機能付リモコン(別売品)

- 138-M000
浴室リモコン(優先・呼出スイッチ付)
台所リモコン(暖房スイッチなし)
- 138-M001
浴室リモコン(優先・呼出スイッチ付)
台所リモコン(暖房スイッチ付)
- 138-M002
浴室リモコン(優先・呼出スイッチ付)
台所リモコン(浴室予備暖房スイッチ付)
- 138-M003
浴室リモコン(優先・呼出スイッチなし)
- 138-M004
増設リモコン

インターホン機能付リモコン(別売品)

- 138-M005
浴室リモコン(優先・通話スイッチ付)
台所リモコン(通話スイッチ付)
(暖房スイッチなし)
- 138-M006
浴室リモコン(優先・呼出スイッチ付)
台所リモコン(通話スイッチ付)
(浴室予備暖房スイッチ付)

コードレスリモコンを使用する場合は、リモコンに同梱の専用取扱説明書もお読みください。

コードレスリモコン(別売品)

- 138-M300
浴室リモコン+台所リモコン

もくじ

ページ

必ず お読みください	安全上のご注意	6~11
	使用上のお願	12~13

すぐ 使いたいとき	早見表	4~5
	初めてお使いになるとき	14~15
	お湯を出す	16~17
	お湯はりをする	18~21
	湯かげんを調節する	22
	足し湯・シャワーを使う	23
	暖房・浴室暖房をする	24~25
	通話をする	26~27
	音声モニター	28
	音声モニター禁止	28
音声モニター・通話の音量設定	29	

もっと 使いこなしたいとき	優先/呼出/入浴剤	30
	お知らせタイマーの設定	31
	ふろ温度の設定	32~33
	ふろ湯量の設定	32~33
	お湯はり予約をする	34~35
	静音運転	36~37
	お知らせパターン(音声お知らせ)・音量・保温時間の設定	38~39
	バックライト・自動配管洗浄の設定	40~41
	日常の点検とお手入れ	42~43

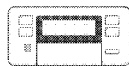
もし 必要なとき	故障かな?	44~48
	凍結予防について	49~52
	各部のなまえ (本体・浴室・台所・増設リモコン)	53~57
	仕様	58~60
	アフターサービスについて	62
	索引	63

安全上の注意

使う

使いこなす

必要なとき



早見表 (おもな使いかた一覧)



現在時刻を合わせる・・・P15参照

1 押す (「ピツ」になるまで) 2 時刻を合わせる 3 確定する

お湯を出す・・・P16～17参照

1 押す 2 給湯温度を設定する (最初のみ「ピツ」となるまで押す) 3 確定する 4 給湯栓を開ける 5 給湯栓を閉める

お風呂にお湯をはる・・・P18～21参照

※お風呂の排水栓を閉じる

1 押す お湯はりが終わると自動停止 自動保温と自動足し湯 自動保温

お風呂のお湯をあつくする・・・P22参照

1 押す 設定温度になると自動停止

お風呂のお湯をぬるくする・・・P22参照

1 押す 約10 Lの水を足し、自動停止

お風呂にお湯を足す・・・P23参照

(人浴中に浴そうのお湯が減ったときなど)

1 押す 約20 Lのお湯を足し、自動停止

(インターホン機能付リモコンのみ)

音声モニターのしかた・・・P28参照

1 押す 約60分後、自動的に「切」になります。

音声モニター停止のしかた (浴室リモコンのみ) 約2秒間押す

音量設定のしかた 通話スイッチ「入」時、音量を設定する

※通話のしかた・・・P26参照

ロックのしかた

※お子様のいたすらや誤った操作を防ぐため、ロックをかけることができます。(ロック中は各スイッチの「切」と「噴出」または「通話」操作以外は使えません)

同時に約1秒間押す (ロックの解除) 再度約1秒間同時に押すと、解除できます。

(画面表示部に「→」が表示) (画面表示部の「→」が消灯)

※停電した場合は、ロックが解除されます。

使う

早見表 (おもな使いかた一覧)

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

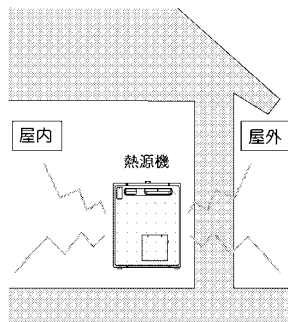
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

設置工事時のご注意

屋内に設置しない



燃焼排ガスが室内に充満したり、正常な給排ガスができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

⚠ 危険

もし異常が起ったら

ガス漏れに気付いたときは、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社に連絡する



ガス栓を閉める



窓や戸を全開にする



ガス会社に連絡する
(この時、周辺の電話は使用しない)

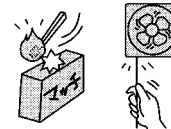


そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

⚠ 警告

給湯・シャワー使用時、入浴時のご注意

シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する



確認を怠ると、やけどの原因となります。

熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める



水側を先に止めると配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位置まで回す



途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

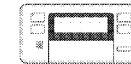
混合水栓を使用している場合、他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります



やけど注意

急に熱い湯が出る場合があります。
●配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。

給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたり運転「切」にされると冷水になり、びっくりしてけがの原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

電源コード・プラグについて

電源プラグは根元まで確実に差し込む
 差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
 ● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC 100 V以外での使用はしない
 たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる
 プラグにはこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
 ● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く
 コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない
 ぬれ手禁止
 感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない
 傷つけたり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない
 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
 ● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

修理・分解・改造について

お客様ご自身で修理・分解・改造をしない(フロントカバーを外さない)
 不備が生じた場合、火災や熱源機故障の原因となります。
 ● 販売店に依頼してください。

長期間使用しないとき

お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする
 (旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう)
 ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

もし異常が起ったら

異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う
 ①給湯栓を閉める
 ②運転スイッチおよび放熱器を「切」にする
 ③給水元栓・ガス栓を閉める
 ④お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する
 そのままにしておくこと火災の原因となります。

ご使用について

浴そうフィルターを外して使用しない
 思わぬ事故の原因となります。

子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうの循環口付近に潜ったりしない
 思わぬ事故の原因となります。

ガソリン・ベンジン・灯油など引火のもののあるものを近くで使用しない
 火災の原因となります。

燃えやすいものは離す
 前方 600 mm以上
 上方 300 mm以上
 左 150 mm以上
 右 150 mm以上
 上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

給湯・シャワー使用時はまず優先表示の点灯・設定温度を確認する
 確認を怠ると、やけどの原因となります。

給排気口をおおわない
 火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

次の場合、循環口付近に手・足・体を近づけない
 ● 給湯使用直後
 ● お湯はり時
 ● 追いだき時
 循環口からあつい湯が出てやけどの原因となります。

スプレー缶を給排気口の前方に置かない、前方で使用しない
 熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

増改築などにより屋内状態にしない(波板などにより固いをしていない)
 十分な給排気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

熱源機の設置、移動・取り外しの工事はお買い上げの販売店に依頼する
 正常に熱源機が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

熱源機の上ののったり、物をのせたりしない
 やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

安全上のご注意

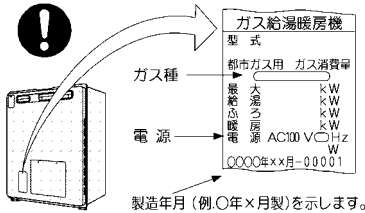
必ずお守りください

安全上のご注意

警告

電源・ガスについて

必ず銘板に表示のガス種・電源を使用する



他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

接続について

ソーラー(太陽熱温水)システムに接続しない



高温水が出て、やけどや熱源機故障の原因となります。

注意

電池の取り扱いについて

電池を使用している機器は次に従う



- 大型ごみなどで廃棄する場合、必ず電池を取り外す
- 新旧・異種の電池は混用しない
- 充電・ショート・分解・加熱・火の中へ投入しない

液もれ、発熱、発火、破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

- 万一液もれが発生し、液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

注意

ご確認ください

点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確認する



確認を怠ると、熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

アース接続されていることを確認する



アース線接続

- 漏電が生じた場合、感電の原因となります。
- アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。(アース工事は本製品の価格には含まれていません。)

凍結後、再使用する際は全ての給湯栓から水が出ることを確認し、熱源機および配管から水漏れのないことを確認する



水漏れによる床や壁などの損害は、お客様のご負担となります。

点検・お手入れについて

点検・お手入れ時は次の手順に従う



- ①給水元栓・ガス栓を閉める
- ②電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする
- ③熱源機が冷えてから行なう
(暖房機が冷えるまで)

上記手順に従わないと、やけどや熱源機故障の原因となります。

ご使用について

植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口(給排気筒トップ)の周囲に置かない



思わぬ事故の原因となります。

ご使用について

給湯・シャワー・お湯はり・追いだし・温湯暖房・浴室乾燥用として使用する



他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

使用中や消火直後は、排気口・天面付近に触れない



接触禁止

やけどの原因となります。

熱源機内に長時間たまってた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない



健康を損なう恐れがあります。
(雑用水としてお使いください。)

スピーカーに耳を近づけて使用しない



大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こす原因となります。

増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにする



変色・破損・腐食の原因となります。

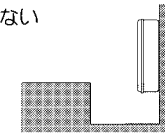
塀などを増設する場合は、熱源機の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する



熱源機の修理・点検のためと、燃焼不良を防止するためです。
(空間については、販売店にお問い合わせください)

設置について

排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

- 販売店にご相談ください。

車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

床暖房・パネルヒーターについて

床暖房の上に電気カーペットを敷かない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない



温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

パネルヒーターの表面は触らない
(パネルヒーター使用の場合)



接触禁止

やけどの原因となります。

床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間座ったり、寝そべったりしない



低温やけどの原因となります。

使用上のお願い

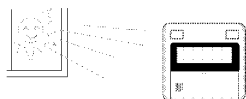
断水のときは

断水のときは給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

そのままにしておくと、熱源機故障の原因となります。

リモコンの使用場所について

台所リモコンは直射日光、水しぶき・蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない



水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

浴室リモコンは直射日光の当たる場所で使用しない、設置しない

浴室リモコン故障の原因となります。

台所リモコンを水洗いや水かけしない

リモコン内部に水が侵入して故障の原因となります。

インターホン機能付リモコンの場合

テレビなどの騒音が大きい場合、騒音源を小さくするか、騒音源を止めてから通話する

騒音で相手の話し声が聞き取りにくくなります。

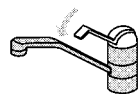
シャワーなどのお湯や水を直接かけない

マイクやスピーカーの穴に水膜が張り、マイクの感度が落ちたり、スピーカーの音が聞こえにくくなります。

通話中にリモコンを操作したり、燃焼表示が点灯したときなど、音声途切れることがあります。異常ではありません

停電のときは

停電のときは、給湯栓を閉める



停電のときは、燃焼が停止し、水になります。

ご使用後は

使用後は運転スイッチを「切」にする

そのままにしておくと凍結して給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

ご使用について

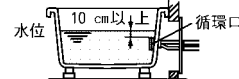
テレビやラジオとは1.5 m以上離す



上記の距離を確保しないと雑音の原因となります。

身体についたシャンプー、せっけん等は洗い流してから入浴する
浴そう水の濁りの原因となります。

追っだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



熱源機故障の原因となります。

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで熱源機に影響のないものを使用する
入浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障の原因となるものがあります。(※30ページ)

この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない
熱源機故障の原因となります。

24時間風呂には使用しない

24時間風呂への対応はしていません。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

夏期などぬるめのお湯が出ないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

浴そう内の循環口は、手や足・タオルなどでふさがない
熱源機故障の原因となります。

燃焼中、電源プラグを抜いてまたはブレーカ「切」にして消火しない
熱源機故障の原因となります。

温泉水や自家用井戸水などで使用すると水質によっては熱源機の耐久性を損なう場合があります

修理が発生した場合、有料となります。

混合水栓使用の場合

混合水栓を使用の場合、ときどき水だけを流す、またサーモミキシングバルブご使用時はリモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め(3~5℃)にする

給水側の水を長い間使用しないと、一瞬にごった湯(赤水など)が出る場合があります。

混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの(瞬間湯沸器用混合水栓)を選ぶ



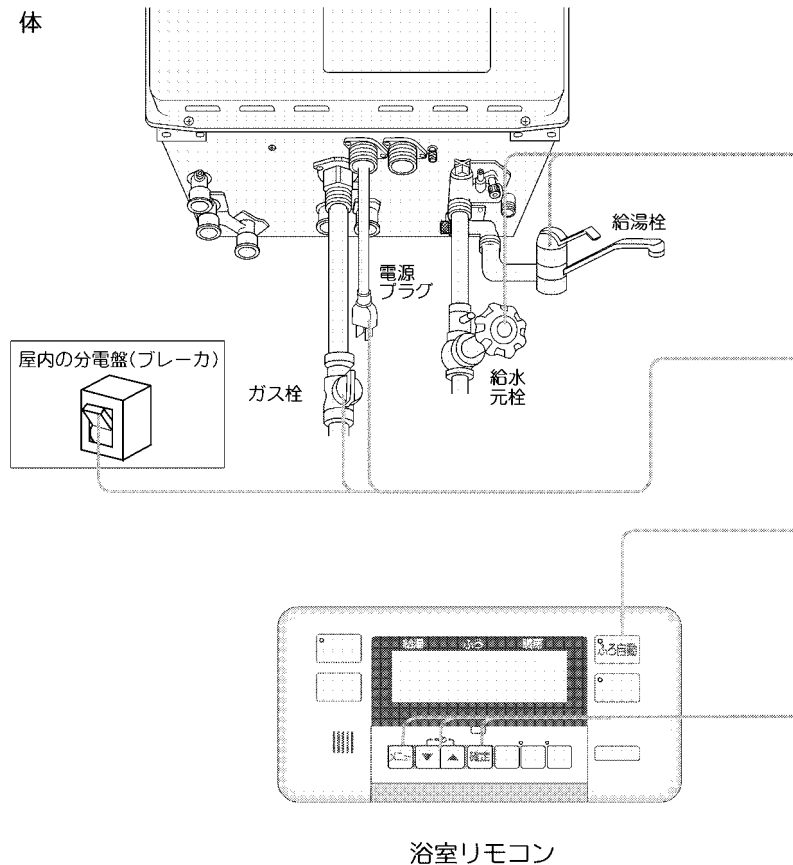
出口が絞られているものは熱源機作動不良の原因となります。

初めてお使いになるとき

【メロディーでお知らせ】

【女性の声でお知らせ】

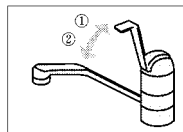
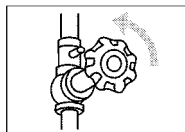
本体



※給湯栓は、レバーを上げた状態が「開」の場合で説明しています。

1

■ 水の出ることを確かめる

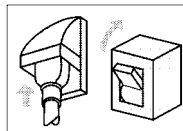
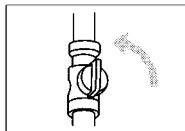


給水元栓
給湯栓を開ける

①開けて水を出し、
②閉める。

2

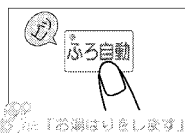
■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
または、ブレーカを
「入」にする

3

■ お風呂の湯が出ることを確かめる(ポンプに水を入れるため)



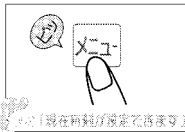
風呂自動スイッチを
押す

①浴そうに湯が出ることを確かめ、
②再度風呂自動スイッチを押し、
湯を止める。

4

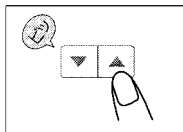
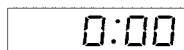
■ 現在時刻を合わせる(台所リモコンでも操作できます)

※時刻は、24時間表示です。



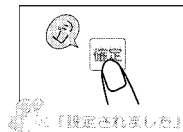
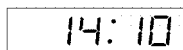
押す(「ピッ」となるまで)

●「0:00」が点滅。



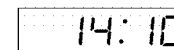
時刻を合わせる

●例 午後2時10分に
合わせる。



確定する

※1分間操作なしでも
時刻が確定します。



「●」が点滅

■ 時刻を変更する(台所リモコンでも操作できます)

⇒「メニュー」を数回押し、時刻設定モードにして時刻を変更してください。



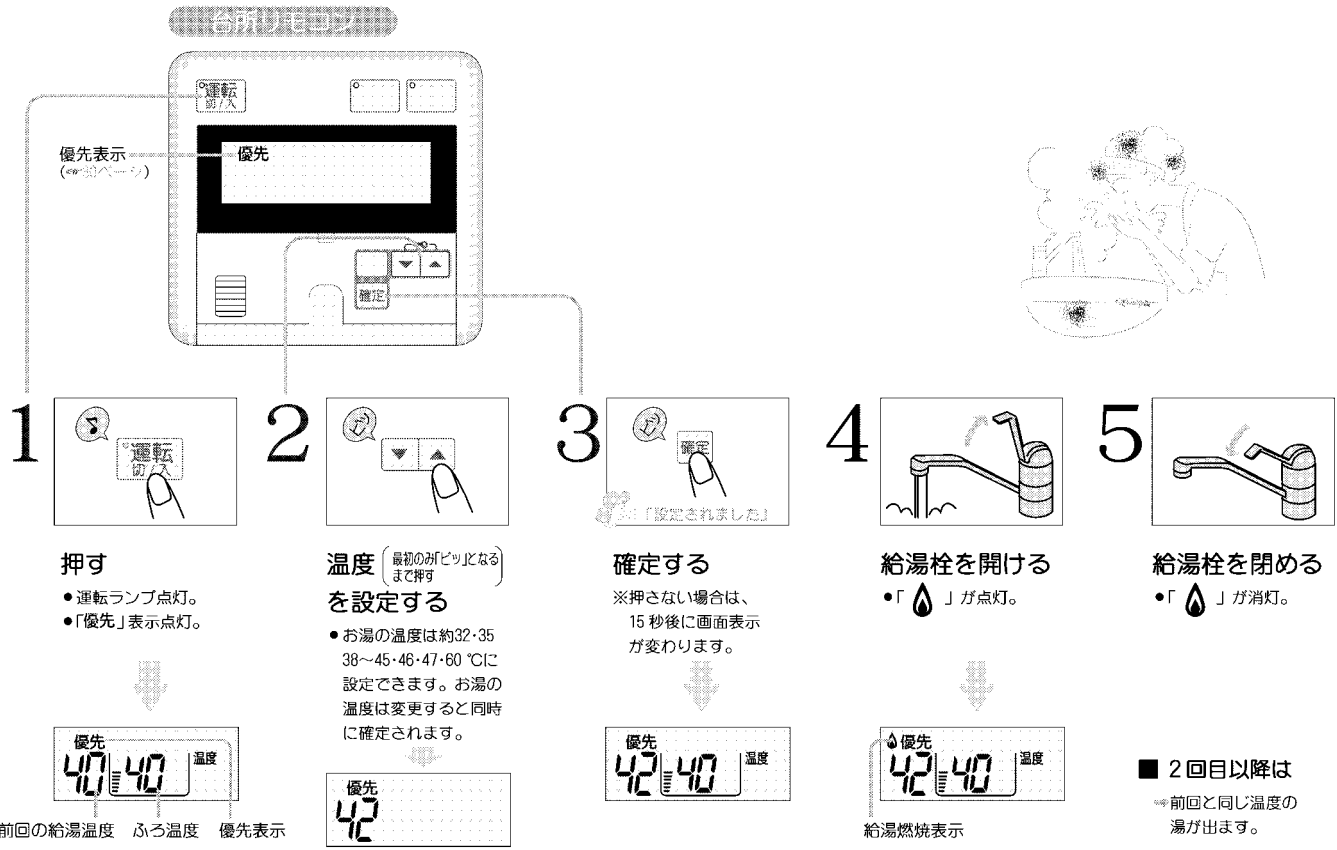
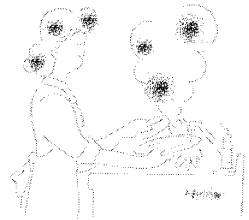
● 上下のスイッチは、時刻設定時、1回押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

● 浴室リモコン・台所リモコン両方ある場合 ⇒ 片方の現在時刻を合わせると、両方設定されます。
● 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。

使う

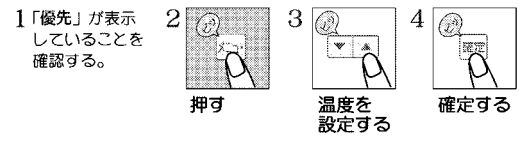
初めてお使いになるとき

お湯を出す



使う
お湯を出す

音声モニター操作に給湯温度を設定する場合



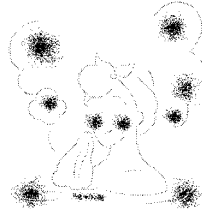
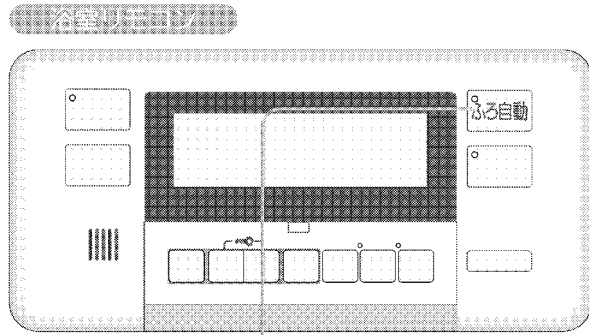
※60℃に設定した場合
「あついお湯が出ます」

■ 浴室リモコンで操作する場合 (※23ページ)



- お湯はり中、給湯すると※おふろと同じ温度のお湯がでます。
- 給湯栓を絞りすぎると※熱いお湯が出たり、「」の点灯・消灯をくり返すことがあります。
- 給湯温度の数値は目安です。
- リモコンの運転スイッチ「切」の状態でも約3.5～4 Wの電力を消費しています。
- 水温が高い場合は低温のお湯が出ないことがあります。この場合、お湯の量を多くして使用してください。
- 上記手順2の前に「」を1回押しても給湯温度設定はできません。
- 給湯温度の32・35・60℃は、コードレスリモコンでは設定できません。

お湯はりをする (全自動タイプ)



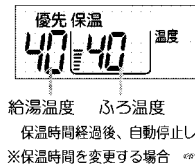
準備：
①お風呂の排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをして
ください。



お湯はり終了の少し前になると
～ドブスリダイヤ～
※「もう少しでお風呂が沸きます」

お湯はりが終わると
～ドブスリダイヤ～
※「お風呂が沸きました」
→その後、4時間保温と足し湯をします。
(「保温」が点灯)

台所リモコンの場合
バックライトカラーが
3色(初期設定)に設定さ
れていると、お湯はり中
は赤、終了すると橙でお
知らせします。
※41ページ



■ お風呂湯量やお風呂温度を設定・変更する場合

※22～23ページ

■ お湯はり後に湯かげんを調節する場合

※22～23ページ

■ お湯はりの操作は台所リモコンでもできます。

■ お湯はり・保温を途中で止めるとき

→再度「お風呂自動」を押す。
(ランプ・お風呂・保温 が消灯)



- 給湯中に「お風呂自動」スイッチを押すと
→お湯はりは待機します。給湯栓を閉めると、お湯はりを開始します。
- お湯はり中は →リモコンの優先表示は消えています。
- お風呂温度の数値は目安です。(浴そうの温度とは一致しない場合があります。)
- 入浴時は、お湯をかき混ぜて湯温を確認してください。
- 保温中の湯温検知は4時間までは10分、4時間以降は30分に1回行ないます。

お湯はりとは、

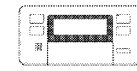
「お風呂自動」で浴そうに設定した湯量・温度のお湯を自動的にはる機能です。

■ 「お風呂自動」を押した後のお湯はりについて

- お湯はり中、一旦停止するのは(「お風呂」が点灯したり消えたりするのは)
→浴そうの湯量などを確認するためで異常ではありません。
- 浴そうに残り湯がある時
→18ページと同じ手順で設定した湯量・温度にお湯はりします。
- 浅い浴そうや小さい浴そうのとき
→湯量(水位)が高めになることがあります。

■ 高速お湯はり運転について

高速お湯はり運転とは、浴そうに残り湯がない状態から、設定した湯量・温度のお湯を、はやくお湯はりする機能です。(コードレスリモコンではできません。)



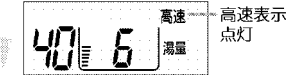
浴室リモコンのみ可能
※台所・増設リモコン
ではできません。



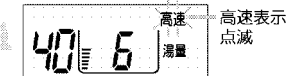
3秒以上押し続ける

- ランプが点灯。
- 「高速」が点灯。

＜正常に高速運転に入った場合＞



＜高速運転にならなかった場合＞



※通常のお湯はり運転に切り換わります。

● 浴そうにお湯(水)がないこと

- 残り湯が循環口より上にある場合…通常のお風呂自動運転に切り換わります。「高速」表示点滅
- 残り湯が循環口より下にある場合…高速お湯はり運転になりますが、設定湯量より残り湯分、多くなり、あふれる場合があります。

- 高速お湯はり中、給湯栓を開けると、お湯はりの時間は長くなります。

● お湯はり中に給湯栓を開けると

- お湯はり一旦停止することがあります。この場合、給湯栓を閉めると、お湯はりを開始します。
- 給湯温度はお風呂温度と同じになります。
- 給湯の湯量が変わることがあります。

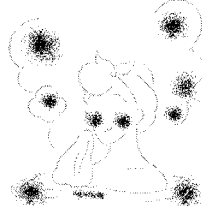
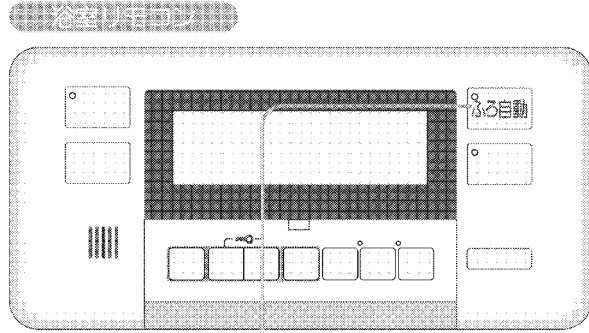
● お湯はり・保温を途中で止めたとき

- 熱源機が停止するまで時間がかかることがあります。

使う

お湯はりをする (全自動タイプ)

お湯はりをする (自動タイプ)

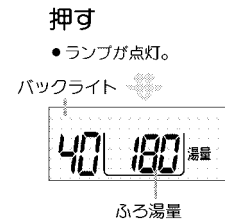


準備：
①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをして
ください。

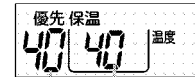


お湯はり終了の少し前になると
→「もう少しのお湯が沸きます」

お湯はりが終わると
→「お湯が沸きました」
→その後、4時間保温をします。
(「保温」が点灯)



ふろ湯量



給湯温度 ふろ温度
保温時間経過後、自動停止します。
※保温時間を変更する場合 ←32ページ

■ ふろ湯量やふろ温度を設定・変更する場合

←32~33ページ

■ お湯はり後に湯かげんを調節する場合

←22~23ページ

■ お湯はりの操作は台所リモコンでもできます。

■ お湯はり・保温を途中で止めるとき

→再度「ふろ自動」を押す。
(ランプ・保温 が消灯)



- 給湯中にふろ自動スイッチを押すと
⇒お湯はりは待機します。給湯栓を閉めると、お湯はりを開始します。
- お湯はり中は
⇒リモコンの優先表示は消えています。
- ふろ温度の数値は目安です。(浴そうの温度とは一致しない場合があります。)
- 入浴時は、お湯をかき混ぜて湯温を確認してください。
- 保温中の湯温検知は4時間までは10分、4時間以降は30分に1回行ないます。

お湯はりとは、

「ふろ自動」 「入」 で浴そうに設定した湯量・温度のお湯を自動的にはる機能です。

■ 「ふろ自動」を押した後のお湯はりについて

- お湯はりを開始し、すぐに一旦停止するのは
→浴そうに残り湯があるか確認するためで異常ではありません。
(「ふろ自動」を「入」にし、約10Lお湯はりすると約1分間止まります。)
※この状態で「ふろ自動」を何度も押すと循環口付近でお湯はりが完了しますので、この操作は行なわないでください。
- 「ふろ自動」を一旦「切」にし、再度「入」にすると
→残り湯の状態により、下記のようにお湯はりされます。湯量にご注意ください。

■ 浴そうに残り湯・水がある場合のお湯はりについて

※同じ湯量設定でも、残り湯の湯量・湯温により、お湯はり量が異なります。

残り湯が循環口より上にある場合

→残り湯の温度がふろの設定温度より約6℃以上低いときは、ほぼ設定湯量までお湯はりしますが多少のばらつきがでます。
(先に沸き上げ後、お湯はりをします。)

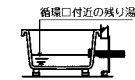


→残り湯の温度がふろの設定温度より約6℃以内のときは、湯量がわからないため、約10Lお湯はりして停止します。(設定した湯量になりません。)
湯量が少ない場合は、「お湯はり」を「入」にし、足し湯してください。
→1回で約20L増えます。



残り湯が循環口付近にある場合

→残り湯が循環口より上にある場合と同じように約10Lお湯はりして完了することがあります。(設定した湯量になりません。)そのときは下記のいずれかの操作をしてください。



- ①「ふろ自動」を一旦「切」にし、循環口の上まで水を入れて(設定温度より6℃以上低くなるよう)から再度「ふろ自動」 「入」 にしてください。→お湯はりをします
- ②「お湯はり」を「入」にし、足し湯してください。
→1回で約20L増えます。

残り湯が循環口より下にある場合

→新たに設定量のお湯はりをしますが、残り湯分だけ多くなりますので浴そうのあふれにご注意ください。

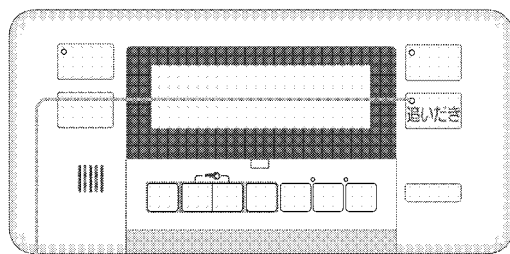


- お湯はり中に給湯栓を開けると
⇒お湯はりが一旦停止することがあります。この場合、給湯栓を閉めると、お湯はりを開始します。
⇒給湯温度はふろ温度と同じになります。
⇒給湯の湯量が変わることがあります。
- お湯はり・保温を途中で止めたとき
⇒熱源機が停止するまで時間がかかることがあります。

使う

お湯はり(自動タイプ)

湯がげんを調節する

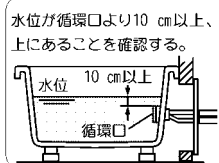


1 押す (追いだしランプ点灯)
 「追いだしまします」

⇒設定温度になると自動的に停止します。
 (ただし、スイッチを押したとき湯温が
 ほぼ設定温度の場合は、設定温度より
 約2℃高く沸き上げます。)

【お知らせ】

- 風呂温度の数値は目安です。
 (浴そうの温度とは一致しない場合があります。)
- 入浴時はお湯をかき混ぜて湯温を確認してください。



水位が循環口より10 cm以上、
 上にあることを確認する。

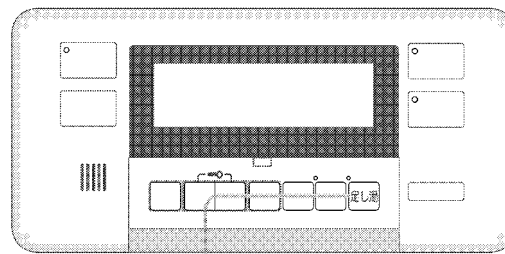
■ 風呂温度を設定したい場合

⇒2ページ

■ 途中で止めるとき

⇒もう一度「追いだし」を押す。

足し湯・シャワーを使う



1 押す (足し湯ランプ点灯)
 「足し湯をします」

⇒ 風呂設定温度のお湯を約20 L足し湯
 すると自動的に停止します。

■ 風呂温度を設定したい場合

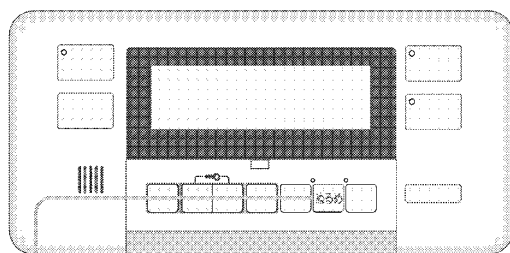
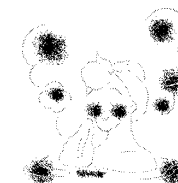
⇒2ページ

■ 途中で止めるとき

⇒もう一度「足し湯」を押す。

【お知らせ】

- 給湯中に「足し湯」を押すと待機
 します。給湯栓を閉めると、
 足し湯を開始します。



1 押す (ぬるめランプ点灯)
 「ぬるめ運転をします」

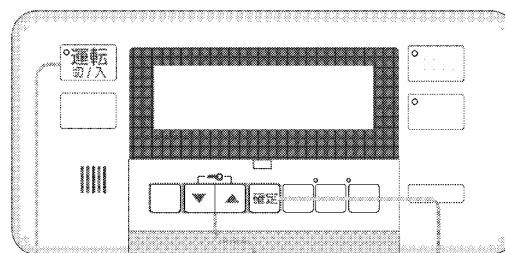
⇒約10 L水を足し、3 Lの湯を出して
 止まります。
 (お湯を出すのは、熱源機内の湯温を
 保つためです)

【お知らせ】

- 給湯、シャワー使用中は、「ぬるめ」は
 作動しません。
 給湯使用後に、再度「ぬるめ」を
 押してください。

■ 途中で止めるとき

⇒もう一度「ぬるめ」を押す。

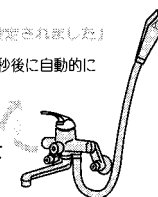


1 押す
 ● 運転ランプ点灯。
 ● 「優先」点灯。

2 温度を設定する
 (最初のがピツとなる
 まで押す)

3 押す 「設定されました」
 ※押さない場合は、15秒後に自動的に
 確定します。

**4 給湯栓を
 開ける**



優先については、
 30ページを参照して
 ください。

使う

湯がげんを調節する／足し湯・シャワーを使う



暖房・浴室暖房をする

暖房水の補給について


暖房用タンクの水が減ると自動的に補給します。

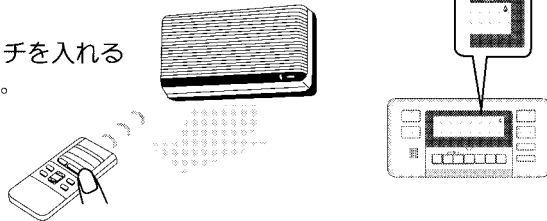
暖房の仕方


エアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。

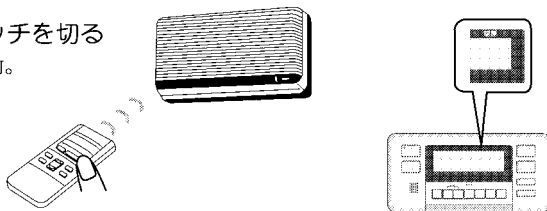
エアコンを使用の場合

●エアコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

- 1 エアコンの
運転スイッチを入れる
•「」が点灯。





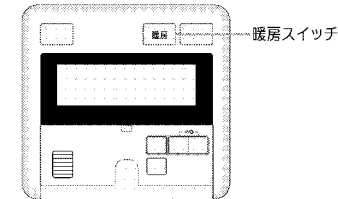
- 2 エアコンの
運転スイッチを切る
•「」が消灯。





暖房スイッチがある場合

●放熱器の操作は、それぞれの説明書に従ってください。

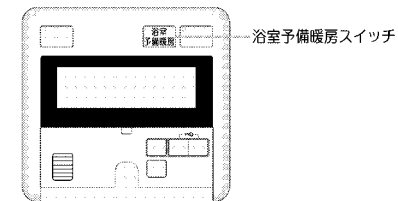
- 1 台所リモコンの
暖房スイッチを入れる
※「暖房運転をします」
•「暖房」・「」が点灯。
- 2 放熱器の
バルブを開ける
- 3 放熱器の
暖房スイッチを入れる
- 4 台所リモコンの
暖房スイッチを切る
•「暖房」・「」が消灯。
- 5 放熱器の
バルブを閉める
- 6 放熱器の
暖房スイッチを切る



●浴室暖房乾燥機の操作は、それぞれの説明書に従ってください。

- 1 台所リモコンの
浴室予備暖房スイッチを入れる
※「浴室予備暖房運転をします」
•「暖房」・「」が点灯。
- 2 台所リモコンの
浴室予備暖房スイッチを切る
•「暖房」・「」が消灯。

※浴室暖房乾燥機によっては浴室予備暖房スイッチを入れても暖房運転できない機種があります。その場合、浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。



※コードレスリモコンには浴室予備暖房スイッチはありません。

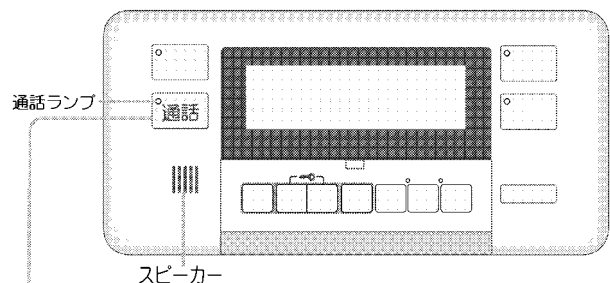
使う

暖房・浴室暖房をする

通話をする

- 運転スイッチは、「切/入」にかかわらず通話ができます。
- 通話スイッチを押し、メロディーが鳴っている間は通話できません。
- 両方から同時に話すことはできません。相手の話が終わってから話してください。

通話とは、浴室と台所で話ができる機能です。



1 **押す**

● 通話ランプ・モニター点灯。
● 呼出しメロディーが鳴ります。(約2秒間)
● メロディーが鳴っている間は通話できません。

モニター点灯

2 **メロディー終了後、通話する**

- リモコンに向かって、ゆっくり話をしてください。
- 指を離れたまま通話できます。
- 台所リモコン側で通話スイッチが押されている間は、通話ランプが点滅します。この間は、浴室リモコンからは話せません。
- 通話終了後は、音声モニター状態になります。

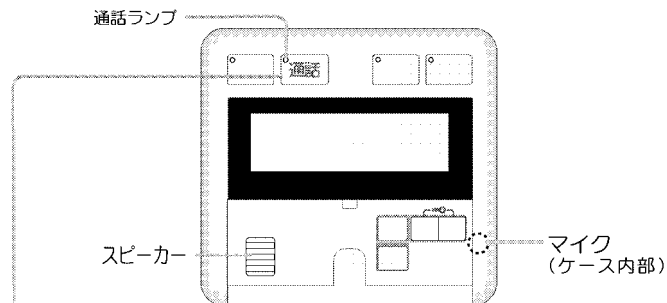
通話スイッチを押してから
約60分後、自動的に
音声モニター終了

- 通話ランプ・モニター消灯。

■ 通話を解除するとき

⇒再度 **通話** を押す。

(通話ランプ・モニターが消灯)



1 **押す**

● 通話ランプ・モニター点灯。
● 呼出しメロディーが鳴ります。(約2秒間)
● メロディーが鳴っている間は通話できません。

モニター点灯

2 **メロディー終了後、押しながら通話する**

- 通話ランプ点滅。
- リモコンに向かって、ゆっくり話をしてください。
- 押し続けても最大3分間で通話が切れます。
- 指を離すと⇒通話ランプ点灯。この間、浴室からの話が聞こえます。
- 通話ランプ点灯中に再び台所リモコンから通話したいときは、再度通話スイッチを押しながら話してください。

通話スイッチを押してから
約60分後、自動的に
音声モニター終了

- 通話ランプ・モニター消灯。

■ 通話を解除するとき

⇒再度 **通話** を押す。

(通話ランプ・モニターが消灯)



- お湯はり・追いだし・ぬるめ・足し湯運転中でも音声モニター・通話ができます。また、音声モニター中でも、4～5ページに記載の操作ができます。ただし、お湯の出しかたは4～5ページの下部に従ってください。
- 通話のときは⇒リモコンから50cm程度の距離で話してください。
⇒メロディー・音声ガイド中は通話できません。
- 言葉が途切れたり、声が小さいときは⇒リモコンに近づいて話してください。

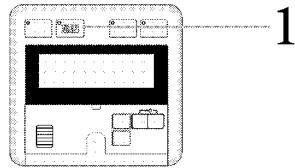
- スピーカーよりハウリング(キーンなどの大きな音)を起こす場合
⇒台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合などに発生することがあります。この場合、音声モニター・通話の音量を下げてください。
- 運転スイッチを「切」にしても⇒音声モニター・通話状態は解除されません。
- 使用環境・条件によっては、通話音声に雑音が混ざったり、一瞬途切れることがありますが、これはリモコンの故障ではありません。
- 通話中に運転スイッチなどを操作すると、スイッチを押した音が相手に聞こえることがあります。
- インターホン機能付リモコン用以外のリモコンとは接続できません。

使う
通話をする

〈インターホン機能付リモコンのみ〉

音声モニター

●音声モニターとは……浴室の様子を音により台所で確認する機能です。

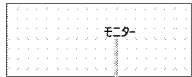


●運転スイッチは、「切/入」にかかわらず音声モニターができます。
●浴室リモコンでも操作できます。



押す

●通話ランプ・モニター点灯。
●浴室の様子が聞こえます。



モニター点灯

●約60分後、自動的に「切」になります。

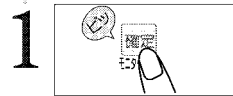
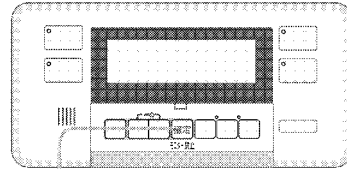
■音声モニターを解除するとき

⇒再度 **通話** を押す。

(通話ランプ・モニターが消灯)

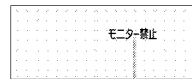
音声モニター禁止

●音声モニターされたくない場合、モニター禁止の設定を浴室リモコンでできます。



約3秒間押す

●モニター禁止点灯。



モニター禁止点灯

●約30分後、自動的にモニター禁止は解除されます。

★音声モニター禁止中はそれぞれのリモコンの

通話スイッチを押しながら通話できます。

●押し続けても、最大3分間で通話が切れます。

●指を離すと、音声モニター禁止状態に戻ります。

■音声モニター禁止を解除するとき

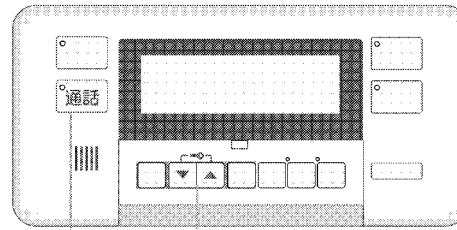
⇒再度 **確認** を約3秒間押す。

(モニター禁止が消灯)

音声モニター・通話の音量設定

●通話中に通話の音量を変更できます。

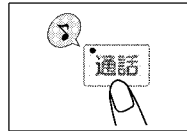
浴室リモコンの場合



1

2

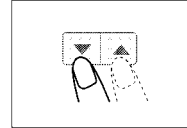
1



押す

●通話ランプ点灯。

2



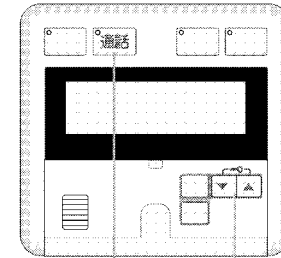
音量を設定する

▶音量1. 音量小
▶音量2. 音量中
▶音量3. 音量大

●設定後、約5秒たつと現在時刻に戻ります。

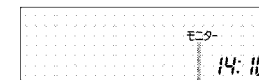
●初期設定は音量2に設定しています。
それぞれのリモコンで独自の音量が設定できます。
お知らせ音量とは別に設定できます。(お知らせ音量設定のページ)

浴室リモコンの場合

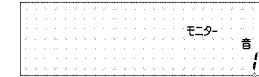


1

2



モニター点灯



音量表示

使う

音声モニター／音声モニター禁止／音声モニター・通話の音量設定



●上記のほか、26～27ページのお知らせも併せてお読みください。

優先／呼出／入浴剤

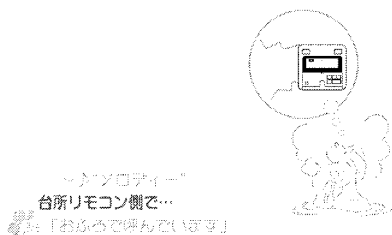
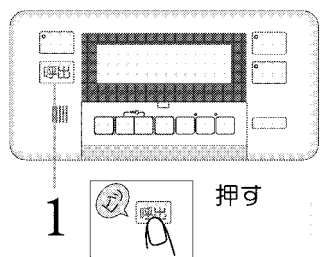
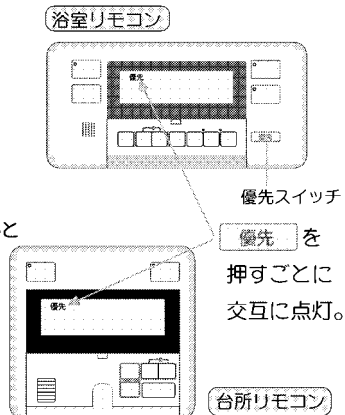
(浴室リモコンと台所リモコンがある場合)

◆浴室でシャワーを使用している場合、台所リモコンで温度を高温に設定することによるやけど防止のため、優先表示の出ているリモコンのみ給湯温度を設定できるようにしています。

- 優先表示が消えているときは
 - ⇒浴室リモコンの優先スイッチを押す。

- 優先スイッチは
 - ⇒押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

- 台所リモコンの「優先」を押し直し、「入」にすると
 - ⇒優先表示は必ず台所リモコンに移動します。
 - ※他の給湯栓を使用中は、優先切換しないてください。やけどの原因となります。



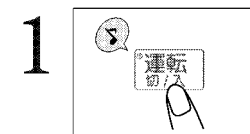
次のような入浴剤などは使用しないでください。(熱源機故障の原因となります。)

- 異種の入浴剤を同時に混ぜたもの
- 浴そう内でのせっけん

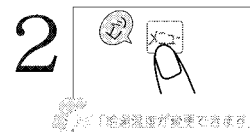
※硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤は、それらの注意書きをよく読んで、熱源機に影響のないものを使用してください。

お知らせタイマーの設定

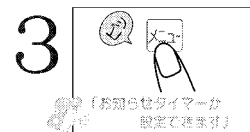
お知らせタイマーとは、設定した時間をカウントダウンする機能です。キッチンタイマー・入浴タイマーなどの代わりにご使用ください。(コードレスリモコンではできません。)



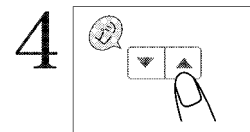
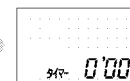
押す
●運転ランプ点灯。



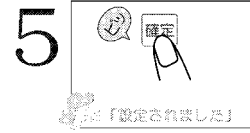
押す
(「ビツ」なるまで)



再度3回押す



タイマー時間を設定する
●1秒～60分の範囲で設定できます。
●は1回押すと1秒ずつ変わり、押し続けると10秒ずつ変わります。



確定する

※押さない場合は、15秒後に取り消されます。カウントダウンは行いません。

カウントダウン開始

●「」が点滅し、1秒ずつカウントダウンします。

終了時

●「」でお知らせします。

カウントを途中で止めるとき

※再度 を押す。(運転ランプ消灯)

■浴室リモコンでも操作できます。

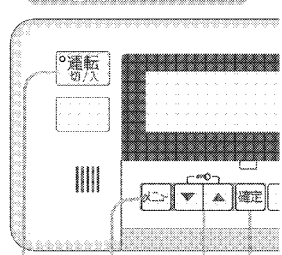
※お知らせタイマーの設定はコードレスリモコンではできません。

優先／呼出／入浴剤

使いこなす

お知らせタイマーの設定

ふろ温度の設定



1 2・3 4 5

■ 台所リモコンでも操作できます。

- 1 押す

 - 運転ランプ点灯。

優先 40 温度
- 2 押す (「ピッ」となるまで)

「給湯温度が変更されます」
- 3 再度 1 回押す

 - ふろ温度設定モードにする。

40 温度

ふろ温度
- 4 ふろ温度を設定する

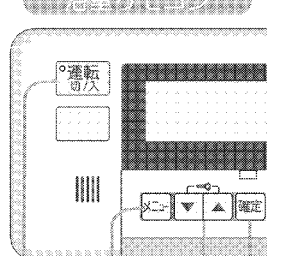
 - 約35~45・46・47・48 °C で設定できます。
- 5 確定する

 - ※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

お知らせ

 - 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。

ふろ湯量の設定



1 2・3 4 5

■ 台所リモコンでも操作できます。

- 1 押す

 - 運転ランプ点灯。

優先 40 温度
- 2 押す (「ピッ」となるまで)

「給湯湯量が変更されます」
- 3 再度 2 回押す

 - ふろ湯量設定モードにする。

6 湯量

ふろ湯量
- 4 ふろ湯量を設定する

全自動タイプ

 - 循環口から高さ約13~29cmの間で設定できます。(設定は1段階約1.8cmで10段階あります。)

自動タイプ

 - 約40 L~約300 L (約20 Lごと)・400 L~500 Lで設定できます。

湯量5の場合

約22 cm
- 5 確定する

 - ※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

6 湯量

180 湯量

ふろ湯量(出荷時) ふろ湯量(出荷時)

お知らせ

- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。

使いこなす

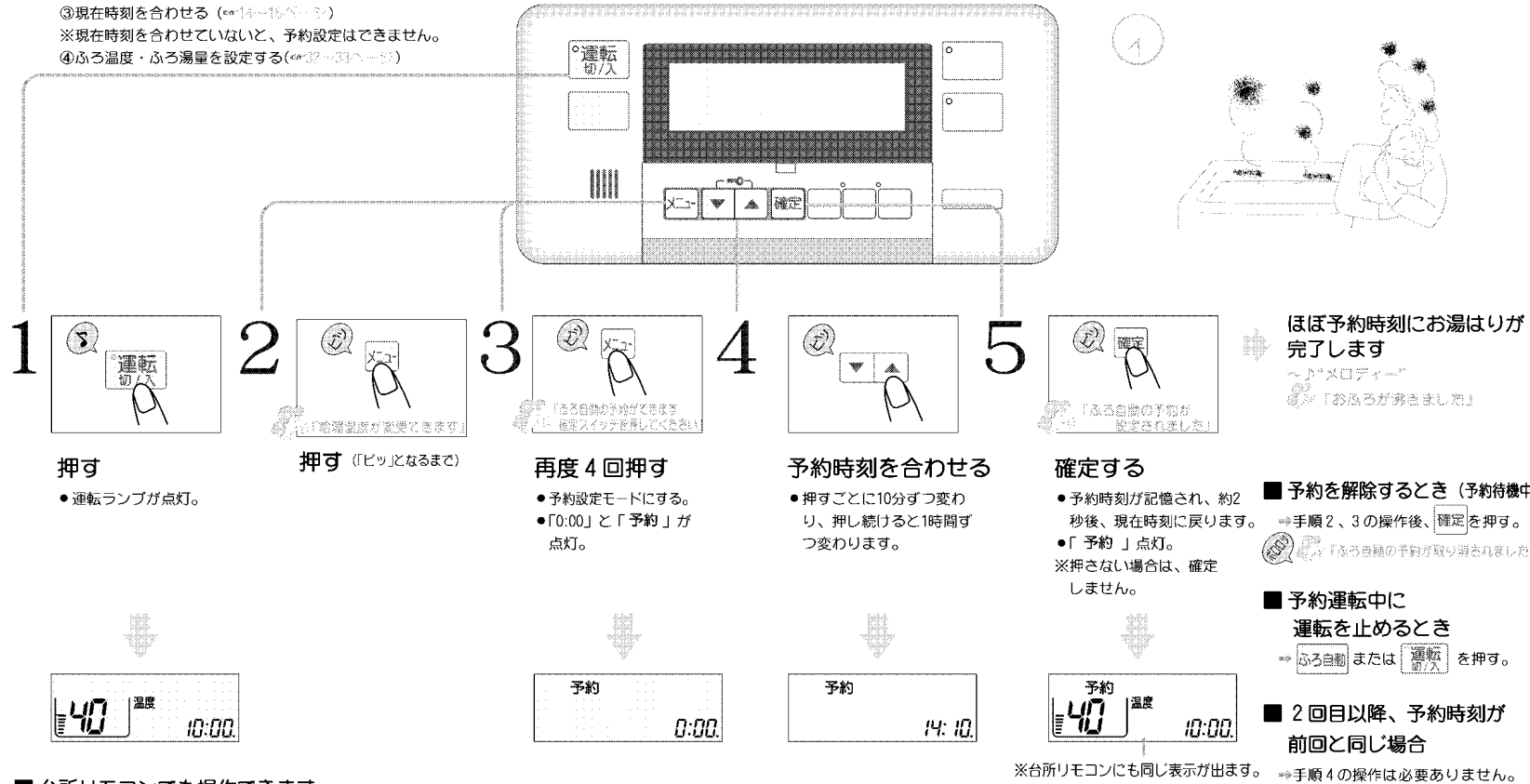
ふろ温度の設定 / ふろ湯量の設定

お湯はり予約をする

お湯はり予約とは、予約時刻にお湯はりを完了する機能です。

- 準備：①お風呂の排水栓を閉じる
 ②浴そうのふたをする
 ③現在時刻を合わせる (en.14～15ページ)
 ※現在時刻を合わせていないと、予約設定はできません。
 ④ふろ温度・ふろ湯量を設定する (en.12～13ページ)

※コードレスリモコンではお湯はり予約はできません。



■ 台所リモコンでも操作できます。



- お湯はり予約の待機中（お湯はりが開始するまで）はふろ自動・追いだし・ぬるめ・足し湯スイッチは使えません。給湯は使えます。
- お湯はりを開始すると、優先表示は消えます。
- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。
- 予約運転ではお湯はり後の保温・足し湯はしません。

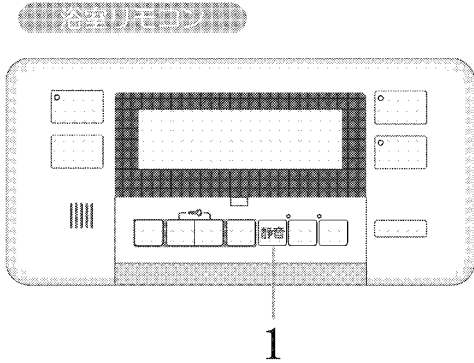
- お湯はり予約の待機中に予約時刻を確認するとき
 → 上記手順2、3の操作で予約時刻を確認し、**メニュー**を2回（台所リモコンは3回）押す。
- お湯はり予約をしていない時に前回の予約時刻を確認するとき
 → 上記手順1～3の操作で予約時刻を確認し、再度**メニュー**を2回（台所リモコンは3回）押す。
- 予約待機中に、運転スイッチを「切」にすると、予約は解除されます。

- 予約を解除するとき（予約待機中）
 → 手順2、3の操作後、**確定**を押す。
 「お風呂の予約が取り消されました」
- 予約運転中に運転を止めるとき
 → **ふろ自動**または**運転切入**を押す。
- 2回目以降、予約時刻が前回と同じ場合
 ※台所リモコンにも同じ表示が出ます。 → 手順4の操作は必要ありません。

使いこなす お湯はり予約をする

静音運転

暖房中の運転音が気になるとき



1

「静音運転が設定されました」

押す

- 「静音」が点灯。
- 静音運転開始。

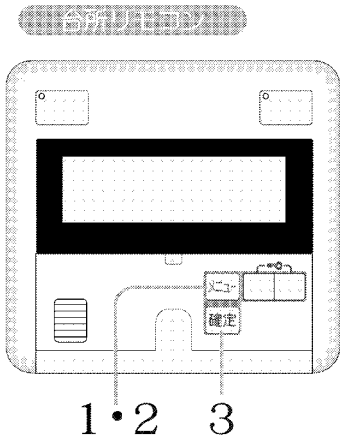
※運転「入」の場合

静音表示

静音運転とは、暖房中の運転音が気になる場合に押すと、運転音を下げて運転します。(暖房能力は少し低下します。)

静音運転を
■ 解除するとき
⇒再度「静音」を押す。
(「静音」が消灯)

※運転「切」からも設定できます。



1

「始動準備が完了できます」

押す (「ビッ」となるまで)

2

「静音運転が設定できます」
「設定スイッチを押してください」

再度5回押す
(自動タイプの場合は4回)

- 静音運転設定モードにする。

※静音表示がない場合、静音運転を設定できます。
※静音表示がある場合、静音運転を取り消すことができます。

3

「静音運転が設定されました」

確定する

※押さない場合は、設定されません。

〈静音運転を設定した場合〉

- 「静音」が点灯。
- 静音運転開始。

〈静音運転を取り消した場合〉

- 「静音」が消灯。
- 静音運転停止。

※運転「入」の場合

静音表示

※運転「切」からも設定できます。

お知らせ

- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。

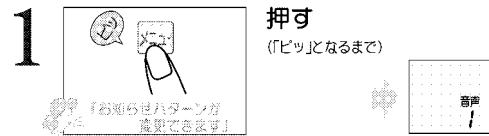
使いこなす
静音運転

お知らせパターン(音声お知らせ)・音量・保温時間の設定

※各設定の変更は、運転「切」の状態で行ってください。

●工場出荷時は音声1に設定しています。

それぞれのリモコンで独自のパターンが設定できます。



★音声お知らせを「切」にしたい場合は、音声2または音声3に設定してください。

▶音声1. メロディーと音声のお知らせ

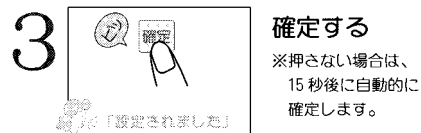
「メロディーと音聲でお知らせします」

▶音声2. メロディーだけでお知らせ

「メロディーだけでお知らせします」

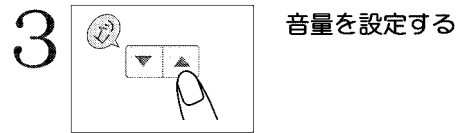
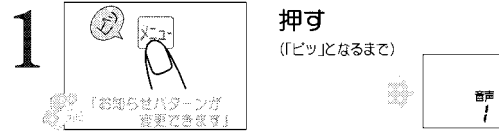
▶音声3. ブザーのお知らせ

「ブザーでお知らせします」



●工場出荷時は音量2に設定しています。

それぞれのリモコンで独自の音声が設定できます。



▶音量0. 音量ゼロ(何も鳴らない)

「音量ゼロです」

▶音量1. 音量小

「音量小です」

▶音量2. 音量中

「音量中です」

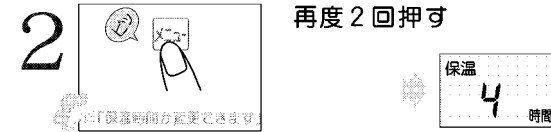
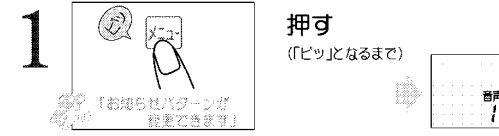
▶音量3. 音量大

「音量大です」



●工場出荷時は保温4時間に設定しています。

浴室リモコン、台所リモコンどちらでも変更できます。



▶0. 保温なし

▶1. 保温時間1時間

▶2. 保温時間2時間

▶3. 保温時間3時間

▶4. 保温時間4時間

▶5. 保温時間5時間

▶6. 保温時間6時間

▶7. 保温時間7時間

▶8. 保温時間8時間




使いこなす

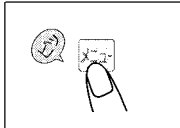
お知らせパターン・音量・保温時間の設定

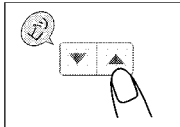
バックライト・自動配管洗浄の設定

※各設定の変更は、運転「切」の状態で行ってください。

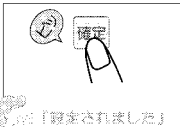
●工場出荷時は **On 1** に設定しています。
台所リモコン、増設リモコンで設定できます。

1  **押す**
(「ピッ」となるまで)

2  **再度3回押す**

3  **バックライトカラーを設定する**

- ▶色変更 **On 1**. 動作によって3色に変化
- ▶色変更 **On 2**. 運転「入」時、緑色に固定
- ▶色変更 **On 3**. 運転「入」時、赤色に固定
- ▶色変更 **On 4**. 運転「入」時、橙色に固定
- ▶色変更 **OFF**. 常時、消灯

4  **確定する**
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

※色変更 **On 1** の色変化
 橙…給湯運転中・追いだし運転中・ふろ自動保温中・ぬるめ中・足し湯中・自動配管洗浄中
 緑…運転スイッチ「入」の待機中
 赤…ふろ自動お湯はり中

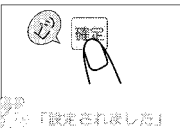
●工場出荷時は **On** に設定しています。
浴室リモコンのバックライト 点灯/消灯を設定できます。


1  **押す**
(「ピッ」となるまで)

2  **再度3回押す**

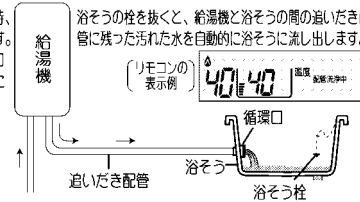
3  **バックライトを設定する**

- ▶ **On**. 運転「入」時、橙色に点灯
- ▶ **OFF**. 常時、消灯

4  **確定する**
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

●自動配管洗浄とは、配管洗浄「入」設定、運転「入」で、浴そうのお湯を排水すると自動的に約10Lのお湯を流して配管内の汚れた水を流しだします。(「配管洗浄中」・「」が点灯)
コードレスリモコンでは「配管洗浄中」の表示は出ません。

- お湯の温度はお湯はり時、設定した温度になります。
- 排水前に浴そうの循環口より上に水がある場合に作動します。




●工場出荷時は配管洗浄「入」に設定しています。
浴室リモコン、台所リモコンどちらでも変更できます。

1  **押す**
(「ピッ」となるまで)

2  **再度4回押す**

3  **自動配管洗浄入/切を設定する**

- ▶配管洗浄 入. 配管洗浄する
- ▶配管洗浄 切. 配管洗浄しない

4  **確定する**
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

※自動配管洗浄機能は全自動タイプのみ

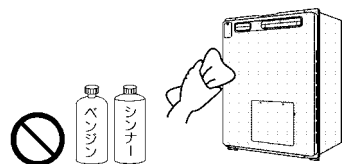
※バックライト設定と、自動配管洗浄の入/切の設定は、コードレスリモコンではできません。

使いこなす
バックライト・自動配管洗浄の設定

日常の点検とお手入れ

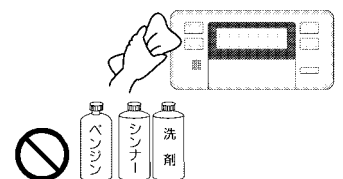
「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて熱源機が冷えてから行なってください。次の要領で定期的に行なってください。

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。



【お願い】ベンジン・シンナーなどは使用しない！

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。



【お願い】ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

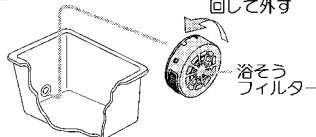
浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると銅イオンと化合して浴そう内側面に青くスジがついたり、青く変色することがあります。

※ふるがま内(循環経路)の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。

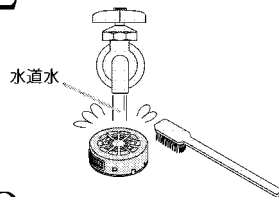
●ゴミや湯あかなどをそのままにしておく目詰まりを起こし熱源機の異常の原因となります。

【目詰まりがひどくなると、追いつきができなくなる場合があります】

1 浴そうフィルターを外す
回して外す

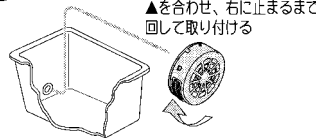


2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける

▲を合わせ、右に止まるまで回して取り付ける

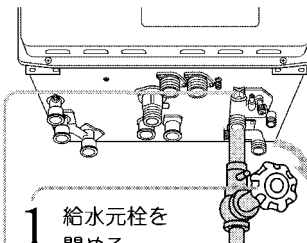


警告

浴そうフィルターは外したまま使用しない

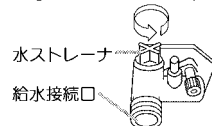
⊘ 思わぬ事故の原因となります。

●お湯の出が少なくなった場合

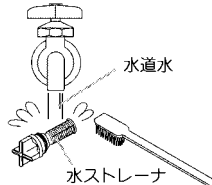


1 給水元栓を閉める

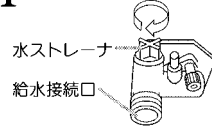
2 給水接続口にある水ストレーナを外す



3 歯ブラシなどで洗う

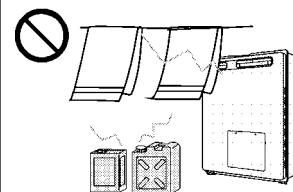


4 もとのように取り付ける



5 給水元栓を開ける

- 熱源機の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- 本体のアンテナに金属が接触していませんか？
(コードレスリモコンの場合)
- 本体のアンテナが破損していませんか？
(コードレスリモコンの場合)



定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあり、ときどき使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

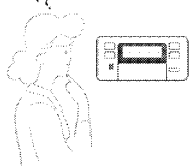
使いこなす

日常の点検とお手入れ

故障かな？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

運転(燃焼)しない



- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。ブレーカが「入」になっていますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。(※12ページ)
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。
⇒点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていますか。(※13ページ)
- リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。
- ガスメータに異常はありませんか。
(マイコンメータをお使いの場合、マイコンメータのランプが点滅していませんか。)

お湯があつくならない

- ガス栓が全開になっていますか。
- 混合水栓の湯と水の量の調節は適切ですか。

低温の湯が出ない

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていますか。(※13ページ)
- 水温が高くありませんか。(※17ページ)
- 水量が少なくありませんか。(※17ページ)

リモコンの優先表示が点灯しない

- 浴室リモコンの浴室優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。(※16ページ)

異常時には安全装置が働きます

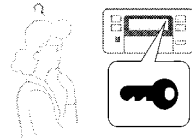
	異常時の状態	エラーコード	安全装置
1	給湯(ふろ)バーナーの炎が消えた場合	1 2 1	給湯立消え安全装置
2	暖房バーナーの炎が消えた場合	1 2 3	暖房立消え安全装置
3	暖房回路の水が万一極端に減った場合	7 1 3	空だき防止装置(暖房)
4	空だきした場合	7 1 1(給湯) 7 1 3(暖房)	空だき安全装置(給湯・暖房)
5	熱源機の温度が異常に上昇した場合	7 1 1(給湯) 7 1 3(暖房)	過熱防止装置
6	電気回路に漏電が生じた場合	表示なし(操作できない)	漏電安全装置
7	過電流が流れた場合	表示なし(操作できない)	電流ヒューズ

上記の安全装置が働いた場合

リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。

● 次のような現象は故障ではありません。

リモコンが動かなくなった



お子様のいたずらや誤った操作を防ぐため、ロックがかかっているためです。(※6ページ)

- ロック中は各スイッチの「切」と「呼出」または「通話」以外は使えません。

ロックの解除は…

- を同時に約1秒間押す。

高速運転ランプが点滅している

高速お湯はりを選択したが、浴そうに残り湯があり、ふろ自動運転モードに切り換えてお湯はりしている場合、点滅します。(※19ページ)

寒い日に排気口から湯気がでる

排気ガス中の水蒸気が湯気になるためであり異常ではありません。

給湯停止後もファンの回転音がる

再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。

給湯栓を絞るとお湯が白くなる

水の中の空気が分離して気泡となるためです。

給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある

水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。

お湯はりの途中で湯はりが一時的に停止する

浴そうの湯量を確認するため異常ではありません。

お湯はりしたとき設定した湯量にならない

浴そうに水・湯があるためです。(※13・21ページ)

故障かな？

必要なとき

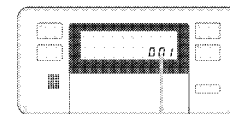
故障かな？ (つづき)

● 次のような現象は故障ではありません。

お湯はり時、給湯・追いき combustion 表示がついたり消えたりする	▶	浴そうの残り湯の量を判定するため、異常ではありません。
お湯はり中に浴そうの循環口から空気が出て、「ポコポコ」と音がる	▶	お湯はり中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいるためです。
お湯はりが止まる、又はお湯はり時間が長い	▶	お湯はり中に給湯栓を開けたためです。給湯栓を閉めるとお湯はりを開始します。
暖房中、「  」がついたり消えたりする	▶	お部屋の温度に応じて「  」がついたり消えたりします。
冬期、暖房を使っていないのに、熱源機が燃焼する	▶	暖房回路の凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がると熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。
使用していないのに、ときどきポンプの回転音がる	▶	暖房回路の空気を抜くために1か月に1回程度自動的にポンプ循環を行います。異常ではありません。
床暖房を使用していないのに、床が暖まることがある	▶	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1か月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末（浴室暖房など）を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
お湯はり中に燃焼しないで設定湯量まで水が入る	▶	水温が高くて注水量が少ない場合は、設定温度のお湯が得られません。注水完了後に追いだきして、設定温度まで沸き上げます。
給湯使用中に追いだきスイッチを押すと、給湯量が少なくなる	▶	給湯と追いだきを同時に使用すると給湯量が少なくなる場合があります。
浴そうの水を排水すると、しばらくして浴そうにお湯が出る	▶	自動配管洗浄機能が働いたためです。(※41ページ)

エラーコードについて

不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。



エラーコード

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを長時間連続運転したため。	再度沸き上げる場合、追いだきスイッチまたはふろ自動スイッチを「切」にして再操作してください。
111	給湯側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。または、追いだきスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。
721	給湯側およびふろ側の回路に不具合が生じたため。	
113	暖房側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、暖房の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
723	暖房側の回路に不具合が生じたため。	
412	お湯はり中に断水したため。	再通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房運転をしたため。	すべての水抜き栓が「閉」・補給水バルブが「開」(※40ページ)になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。
632	浴そうの循環口より約10 cm以上水が入っていないため。 お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしていないため。	浴そうの循環口より約10 cm以上水または湯を入れ、追いだきスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。 ふろ自動スイッチを「切」にし、排水栓をしっかり閉め、再度「入」にしてください。
000	停電したため。	再通電後、時刻を設定しなおしてください。また、各設定が初期に戻っている場合があります。その場合、設定し直してください。
101	熱源機の燃焼に不具合が生じたため。	お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
991	熱源機の燃焼に不具合が生じたため。	ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
上記以外の表示	_____	運転スイッチをいったん「切」にして再操作してください。

上記の処置を行っても同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。このとき、エラーコードの表示をお知らせください。

故障かな？(エラーコードが出た場合)

必要なとき

故障かな？ (つづき)

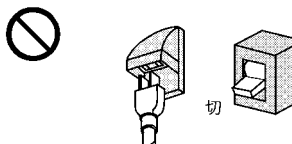
こんなときは

	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	<停電時> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <再通電後> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。	<断水時> ●運転は、停止します。 ●給湯栓を閉じてください。 <再通水後> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。	<供給停止時> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <供給再開後> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。
ふろお湯はり	<停電時> ●運転は、停止します。 <再通電後> ●使いかた(※18～21ページ)によりご使用ください。	<断水時> ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ●エラーコード412が点滅します。 その場合は、再通水後(※21ページ)に従ってください。	<供給停止時> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 <供給再開後> ●使いかた(※18～21ページ)によりご使用ください。
ふろ追いだし	<停電時> ●運転は、停止します。 <再通電後> ●使いかた(※22ページ)によりご使用ください。	<断水時> ●通常は、正常運転します。	<供給停止時> ●運転は、停止します。 ●追いだしスイッチを「切」にしてください。 <供給再開後> ●使いかた(※22ページ)によりご使用ください。
暖房	<停電時> ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 <再通電後> ●使いかた(※24ページ)によりご使用ください。	<断水時> ●通常は、正常運転します。 ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(※17ページ)により再操作をしてください。	<供給停止時> ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 <供給再開後> ●使いかた(※24ページ)によりご使用ください。

凍結予防について

給湯・ふろ側


●運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。





絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

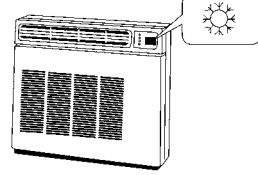
※配管・バルブの凍結予防はできません。

暖房側

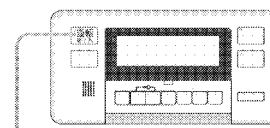
●外気温が0℃近くになると自動的に凍結予防運転します。(リモコンの暖房燃焼表示「」が点灯。)

※ガス栓を閉めないでください。

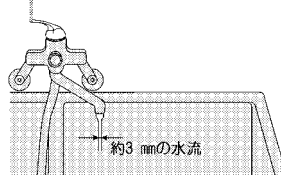
「」のある放熱器は運転スイッチを「」にする。



給湯側



- 1 運転スイッチを切る
- 2 給湯栓を開け、少量の水を出しつづける



※電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっています。)

ふろ・暖房側

左記の説明と同じです。

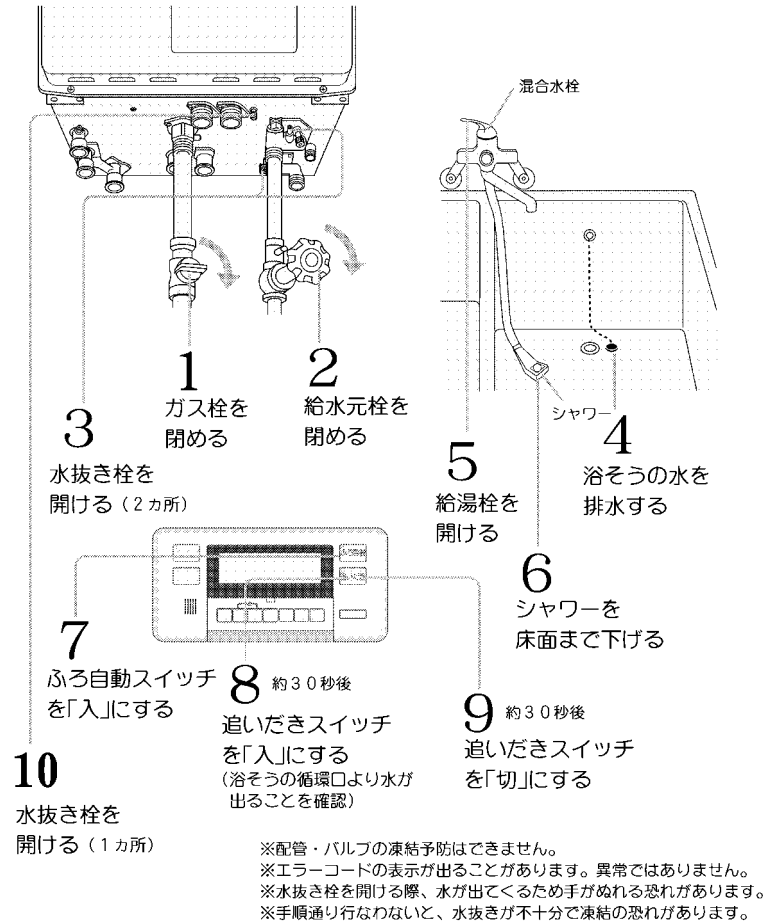
故障かな？ / 凍結予防について

必要なとき

凍結予防について (つづき)

水抜きをする
(給湯・ふろ側)

給湯・ふろ側



水抜きをする
(暖房側)

暖房側

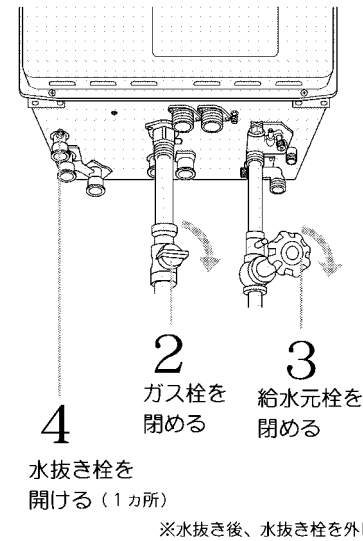
- ※不凍液の有無を確認してください。
- ※給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。
- ※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。
- ※水抜き栓を開ける際、高温の湯 (不凍液) が出てくる可能性があります。

〔循環水が不凍液の場合〕 水抜きの必要はありません。

〔循環水が不凍液ではない場合〕 水抜きをしてください。

- ※1. 放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。
- ※2. 不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで識別できます。

1 電源プラグを抜く または ブレーカを「切」にする

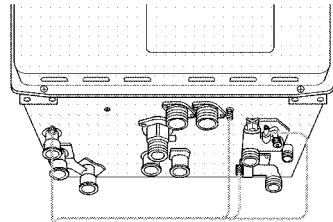


凍結予防について

必要なとき

凍結予防について (つづき)

水抜き栓の閉める



水抜き栓

1 水抜き栓を閉める (4カ所)

※以下の手順は14~15ページの「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

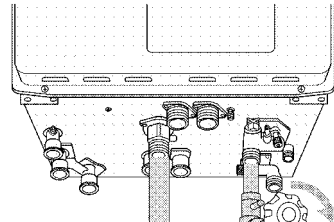
3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込むまたはブレーカを「入」にする

6 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

ガス栓の閉める



ガス栓

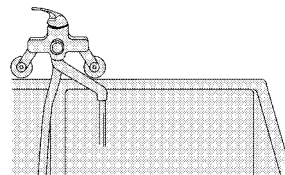
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

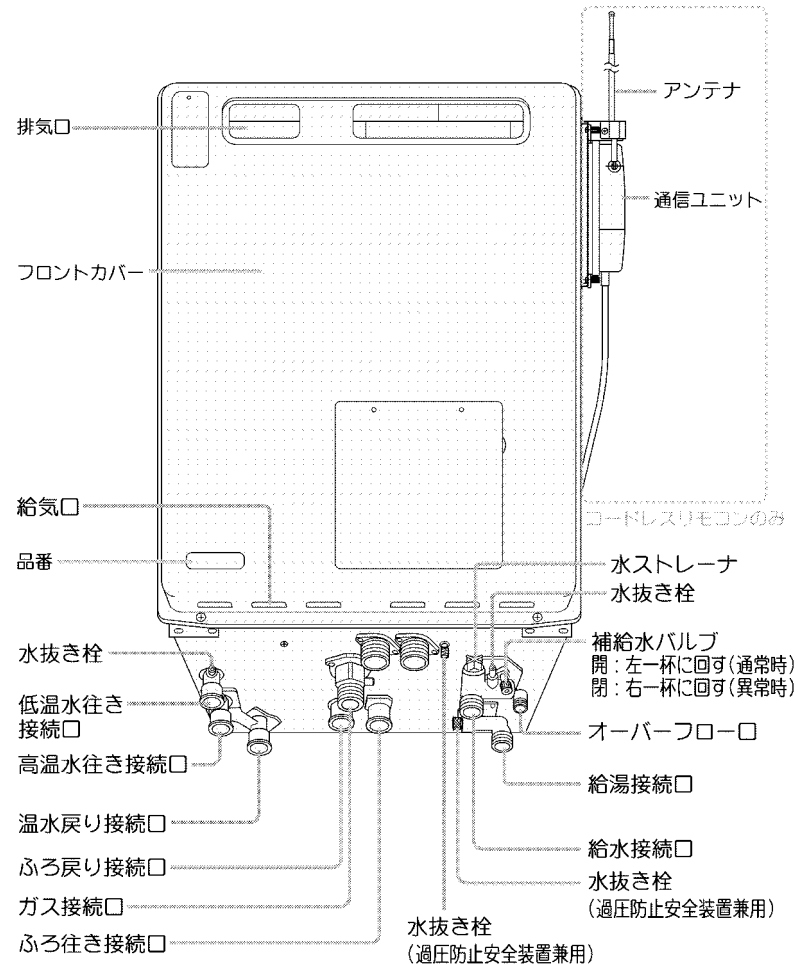
5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する



- 凍結したまま使わないでください。
- 凍結による修理は有料です。

各部のなまえ

本体

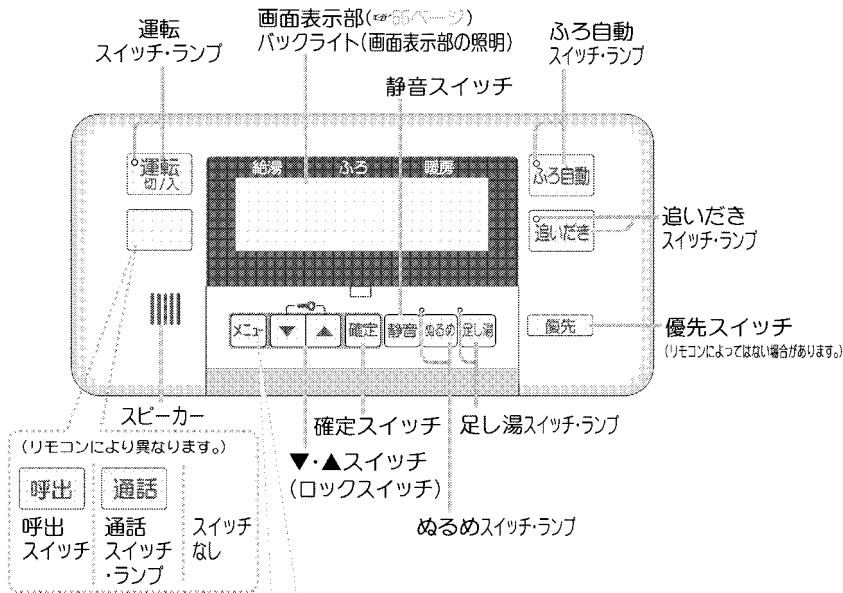


凍結予防について各部のなまえ

必要なとき

各部のなまえ (つづき)

浴室リモコン (操作部)



メニュースイッチ

☆運転「入」時、「ピッ」となるまで押し、その後押すごとに次の設定ができます。

- ①現在時刻設定 (※15ページ)
- ②給湯温度設定 (※16ページ)
- ③ふる温度設定 (※32ページ)
- ④ふる湯量設定 (※32ページ)
- ⑤お知らせタイマー設定 (※31ページ)
- ⑥お湯はり予約の設定と解除 (※34ページ)

※但し、①時刻設定で、一度時刻設定すると、次からは②→③→④→⑤→⑥→①の順となります。

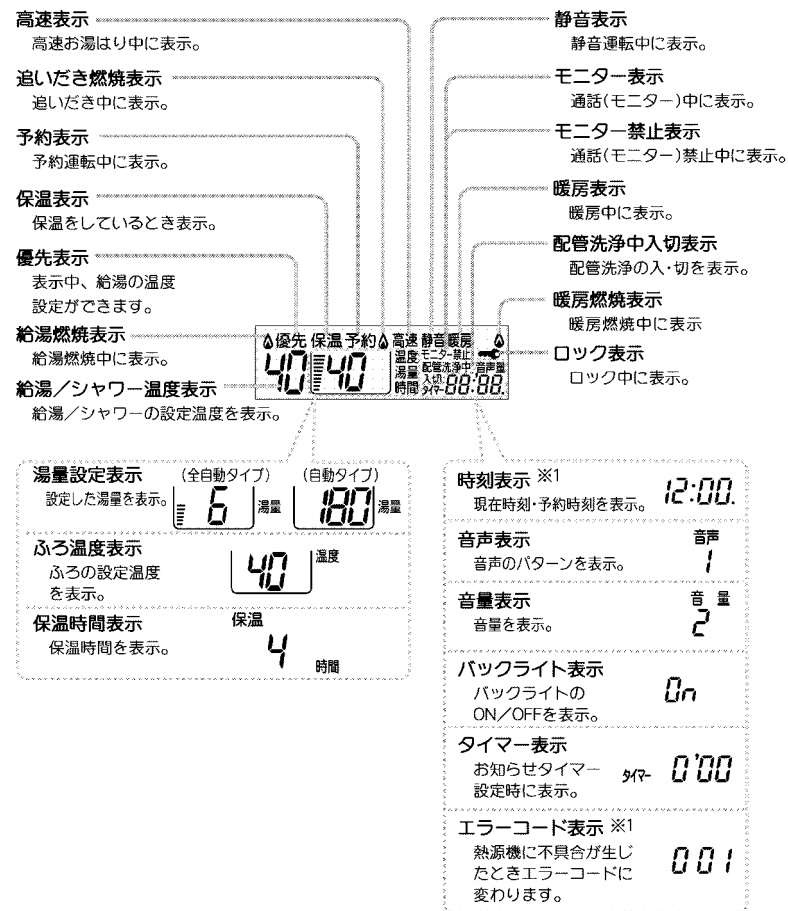
☆運転「切」時、「ピッ」となるまで押し、その後押すごとに次の設定ができます。

- ①現在時刻設定 (※15ページ)
- ②お知らせパターン設定 (※36ページ)
- ③音量設定 (※35ページ)
- ④保温時間設定 (※39ページ)
- ⑤バックライト設定 (※40ページ)
- ⑥自動配管洗浄設定 (※41ページ)

※但し、①時刻設定で、一度設定すると、次からは②→③→④→⑤→⑥→①の順となります。

※上記メニュースイッチで設定しようとするメニューを通り越した場合、再度、メニュースイッチを押し、画面と音声を確認しながらやり直してください。

浴室リモコン (画面表示部)



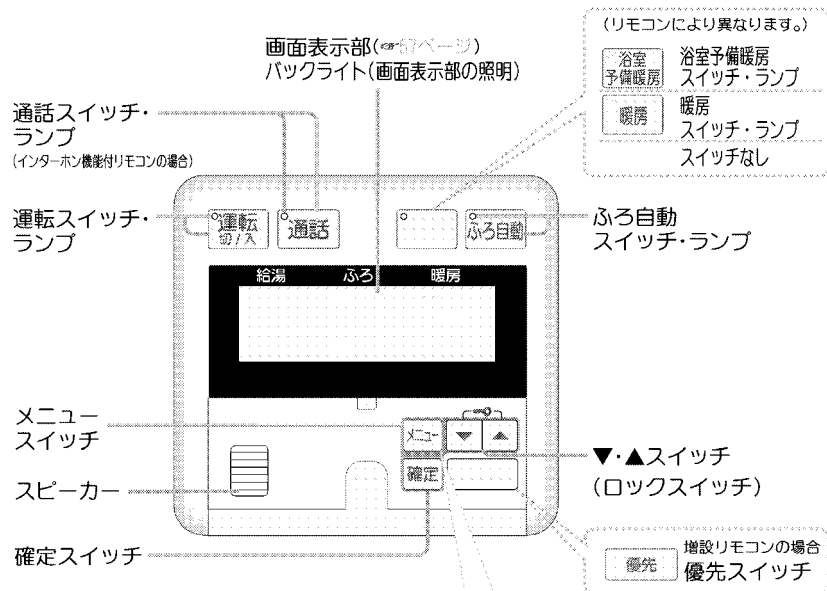
- 上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。また、値は工場出荷時です。
- ※1は工場出荷時と異なります。
- 「給湯/シャワー温度」「ふる温度」などの数値は目安です。
- 暖房の温度設定はできません。

各部のなまえ(浴室リモコン)

必要なとき

各部のなまえ (つづき)

台所・増設リモコン (操作部)



メニュースイッチ

☆運転「入」時、「ピッ」となるまで押し、その後押しごとに次の設定ができます。

- ① 現在時刻設定 (※15ページ)
- ② 給湯温度設定 (※16ページ)
- ③ ふろ温度設定 (※34ページ)
- ④ ふろ湯量設定 (※34ページ)
- ⑤ お知らせタイマー設定 (※31ページ)
- ⑥ お湯はり予約の設定と解除 (※36ページ)
- ⑦ 静音設定 (※32ページ)

※但し、①時刻設定で、一度時刻設定すると、次からは②→③→④→⑤→⑥→⑦の順となります。

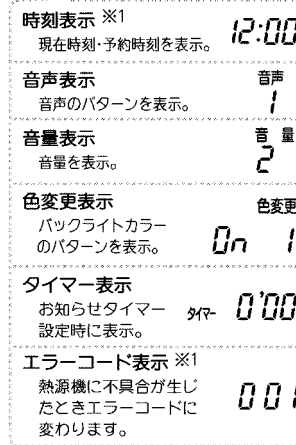
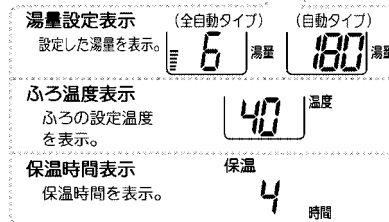
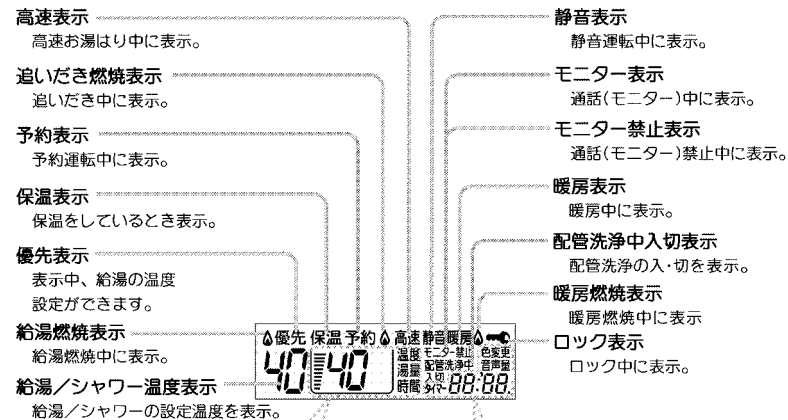
☆運転「切」時、「ピッ」となるまで押し、その後押しごとに次の設定ができます。

- ① 現在時刻設定 (※15ページ)
- ② お知らせパターン設定 (※38ページ)
- ③ 音量設定 (※36ページ)
- ④ 保温時間設定 (※39ページ)
- ⑤ バックライト設定 (※40ページ)
- ⑥ 自動配管洗浄設定 (※41ページ)
- ⑦ 静音設定 (※32ページ)

※但し、①時刻設定で、一度設定すると、次からは②→③→④→⑤→⑥→⑦の順となります。

※上記メニュースイッチで設定しようとするメニューを通り越した場合、再度、メニュースイッチを押し、画面と音声を確認しながらやり直してください。

台所・増設リモコン (画面表示部)



- 上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。また、値は工場出荷時です。
- ※1は工場出荷時と異なります。
- 「給湯/シャワー温度」「ふろ温度」などの数値は目安です。
- 暖房の温度設定はできません。

各部のなまえ(台所・増設リモコン)

必要なとき

仕様

機種名	ガス給湯暖房機	
品番	135-M320	135-M340
型式名	AT4204KRSAWQ	AT4204KRSSWQ
種類	給湯方式	先止め式
	暖房方式	温水循環方式
設置方式	給排気方式	強制排気方式
	設置方式	屋外設置方式
着火方式	給湯・暖房	タイレクト着火
	本体	高さ612×幅480×奥行250
外形寸法 (mm)	浴室リモコン	<コードレス> 高さ96×幅198×奥行28.5 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 高さ96×幅198×奥行26.5
	台所リモコン	<コードレス> 高さ163×幅75×奥行24 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 高さ120×幅128×奥行23.5
質量 (kg)	本体	41
	浴室リモコン	<コードレス> 0.46 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 0.3
水圧 (kPa)	台所リモコン	<コードレス> 0.25 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 0.2
	使用水圧	100 以上 (170以上: 浴そらが2階、3階の場合)
最低作動水量 (L/分)	作動水圧	15
	給湯	2.8
ポンプ機外揚程	暖房	0以上 (締切り使用可)
	ふろ	3.0
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式
	暖房	電子式ガス比例制御およびON/OFF制御方式
温度設定 (°C)	台所リモコン	給湯 <コードレス> 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 約32, 約35, 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60
	浴室リモコン	ふろ 約35 ~ 約48 (1°C間隔) 給湯・シャワー <コードレス> 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 約32, 約35, 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60
給湯量制御方式	暖房	高温: 約80 低温: 約60 (55, 65, 70°Cに切換可)
	水量	水量比例制御方式 (Q機能)
安全装置	給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置・逆流防止装置	
	消費電力 (60 Hz) (W)	運転時 295 運転停止時 <コードレス> 3.5 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 4 凍結予防運転作動時(最大) 200
接続	ガス	R $\frac{3}{8}$ オネジ (20A)
	給水・給湯	R $\frac{3}{8}$ オネジ (20A)
電気	高温往戻	QF16ジョイント対応
	低温往戻	QF16ジョイント対応
電源	ふろ	QF16ジョイント対応
	オーバーフロー	R $\frac{1}{2}$ オネジ
品番	本体電源	AC100V 60Hz 3心 (うち1心アース用)
	浴室リモコン2心・台所リモコン2心	特定小電力無線通信方式 [アルカリ乾電池/単3形/LR6/2コ]
B L	品番	AT4204KRSAWQ AT4204KRSSWQ

機種名	ガス給湯暖房機	
品番	135-M720	135-M740
型式名	AT2804KRSAWQ	AT2804KRSSWQ
種類	給湯方式	先止め式
	暖房方式	温水循環方式
設置方式	給排気方式	強制排気方式
	設置方式	屋外設置方式
着火方式	給湯・暖房	タイレクト着火
	本体	高さ612×幅480×奥行250
外形寸法 (mm)	浴室リモコン	<コードレス> 高さ96×幅198×奥行28.5 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 高さ96×幅198×奥行26.5
	台所リモコン	<コードレス> 高さ163×幅75×奥行24 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 高さ120×幅128×奥行23.5
質量 (kg)	本体	41
	浴室リモコン	<コードレス> 0.46 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 0.3
水圧 (kPa)	台所リモコン	<コードレス> 0.25 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 0.2
	使用水圧	100 以上 (170以上: 浴そらが2階、3階の場合)
最低作動水量 (L/分)	作動水圧	15
	給湯	2.8
ポンプ機外揚程	暖房	0以上 (締切り使用可)
	ふろ	3.0
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式
	暖房	電子式ガス比例制御およびON/OFF制御方式
温度設定 (°C)	台所リモコン	給湯 <コードレス> 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 約32, 約35, 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60
	浴室リモコン	ふろ 約35 ~ 約48 (1°C間隔) 給湯・シャワー <コードレス> 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 約32, 約35, 約38 ~ 約47 (1°C間隔) 約60
給湯量制御方式	暖房	高温: 約80 低温: 約60 (55, 65, 70°Cに切換可)
	水量	水量比例制御方式 (Q機能)
安全装置	給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置・逆流防止装置	
	消費電力 (60 Hz) (W)	運転時 295 運転停止時 <コードレス> 3.5 <音声お知らせ機能付・インターホン機能付> 4 凍結予防運転作動時(最大) 200
接続	ガス	R $\frac{3}{8}$ オネジ (20A)
	給水・給湯	R $\frac{3}{8}$ オネジ (15A)
電気	高温往戻	QF16ジョイント対応
	低温往戻	QF16ジョイント対応
電源	ふろ	QF16ジョイント対応
	オーバーフロー	R $\frac{1}{2}$ オネジ
品番	本体電源	AC100V 60Hz 3心 (うち1心アース用)
	浴室リモコン2心・台所リモコン2心	特定小電力無線通信方式 [アルカリ乾電池/単3形/LR6/2コ]
B L	品番	AT2804KRSAWQ AT2804KRSSWQ

仕様

必要なもの

仕様（つづき）

<135-M320 (AT4204KRSAWQ)>
<135-M340 (AT4204KRSSWQ)>

使用ガス	全ガス 消費量	1時間当たりのガス消費量 kW				標準出力 kW				
		給湯ガス消費量		ふろ 暖房		能力最大時				
グループ		最大	最小	ガス消費量	ガス消費量	給	湯	ふ	ろ	暖房
都市ガス用	13A	65.6	52.3	5.47	12.8	16.6	41.9 [24号]	8.72		14.0
	12A	61.1	48.7	5.12	12.0	15.5	38.8 [22.3号]	8.72		12.9
LPガス用										
		都市ガス用13A				都市ガス用12A				LPガス用
出湯能力 L/分 (水圧:100 kPa時)		水温+25℃上昇		[24.0]		[22.3]				
		水温+40℃上昇		15.0		13.9				

●出湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

<135-M720 (AT2804KRSAWQ)>
<135-M740 (AT2804KRSSWQ)>

使用ガス	全ガス 消費量	1時間当たりのガス消費量 kW				標準出力 kW				
		給湯ガス消費量		ふろ 暖房		能力最大時				
グループ		最大	最小	ガス消費量	ガス消費量	給	湯	ふ	ろ	暖房
都市ガス用	13A	52.3	34.9	5.47	12.8	16.6	27.9 [16号]	8.72		14.0
	12A	48.7	32.5	5.12	12.0	15.5	26.0 [14.9号]	8.72		12.9
LPガス用										
		都市ガス用13A				都市ガス用12A				LPガス用
出湯能力 L/分 (水圧:100 kPa時)		水温+25℃上昇		[16.0]		[14.9]				
		水温+40℃上昇		10.0		9.3				

●出湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

メモ欄

仕様／メモ欄

必要なとき

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

- 44～48ページの「故障かな?」を見てもう一度確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店または、大阪ガス社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは次のことをお知らせください。

(N)135-M320(U)
大阪ガス株式会社
(AT4204KRSAWQ)

 - (1)品名……………ガス給湯暖房機
 - (2)品番……………正面左下部に貼付してあります。
 - (3)現象……………エラーコードなど（できるだけ詳しく）
 - (4)お客様名・住所・電話番号・道順

転居される場合

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類・電気の周波数によっては調整できない場合もあります。
- 転居・移設の際は、近隣の家に迷惑にならない場所に設置してください。騒音が気になったり、温風で植木が枯れたりします。

保証・修理について

- 保証期間中には…

保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について

お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年です。

ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料で修理いたします。

索引

あ	アースについて……………10	な	なまえ……………53
	アフターサービス……………62		24時間風呂について……………13
	安全装置について……………44		入浴剤・洗剤について……………13・30
	異常燃焼のときは……………8		残り湯からお湯はりをする……………19・21
	インターホン機能付リモコン…3	は	
	エラーコードについて……………47		バックライトの設定……………40
	追いだき時の水位について……………22		早見表……………4
	お知らせタイマー……………31		フィルターの掃除……………42
	お湯はり中に一旦停止する……………19・21		分解・修理について……………8
	お湯をあつくする……………22		保温について……………18・20
	お湯を足す……………23		保温時間の設定方法……………39
	お湯を出す……………16	ま	
	お湯をぬるくする……………22		水ストレーナの掃除……………43
	お湯をはる……………18・20	や	
	音声お知らせ機能付リモコン…3		優先について……………30
か			浴そうの循環口まで
	火災のときは……………8		水が入っていないとき……………21
	ガス種について……………10		浴そうの栓忘れ……………47
	ガスの供給停止のとき……………48		呼出し……………30
	ガス漏れ時は……………7	さ	
	ガス漏れに気づいた時は……………7		時刻合わせ……………15
	可燃物について……………9		地震のときは……………8
	給湯・シャワー使用時は……………7・9		自動配管洗浄……………41
	給湯栓を絞らずに……………17		シャワー使用時は……………7・9
	給湯とお湯はり同時使用の場合…17・18		修理について……………8・62
	高速お湯はり運転……………19		出湯能力について……………60
	故障かな?……………44		仕様……………58
	混合水栓について……………7・13		スプレー缶について……………9
			静音運転について……………36
			設置工事について……………6・9・11
			ソーラーシステムについて……………10
			掃除(本体・リモコン・浴そうフィルター)…42
			(水ストレーナ)…43
た		ら	
	断水のとき……………12・48		離隔距離について……………9
	暖房について……………24		リモコンの使用場所……………12
	定期点検について……………43		
	停電のとき……………12・48		
	テレビ・ラジオとの離隔距離…13		
	転居のとき……………62		
	点検とお手入れ……………42		
	電源コード・プラグについて…8		
	電源について……………10		
	凍結した場合……………52		
	凍結予防について……………49		